# 会　議　議　事　録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会　議　名 | 平成 29 年度<br>第 2 回　教育課程編成委員会 | | 専門学校　東京工科自動車大学校<br>専門学校　東京工科自動車大学校世田谷校<br>専門学校　東京工科自動車大学校品川校 |
| 開催日時 | 平成 28 年 10 月 7 日（金）　１５：００～１７：００ | | |
| 会　　場 | （全体会）東京テクニカルカレッジ１１Ｆ　1104 教場<br>（1 級教育課程分科会）東京テクニカルカレッジ１１Ｆ　1101 教場<br>（2 級教育課程分科会）東京テクニカルカレッジ１１Ｆ　1104 教場 | | |
| 参　加　者 | 委員<br>出席者 | 17 名 | （出席者）<br>・佐藤　康夫（委員長　全体会議長）<br>◇1 級教育課程分科会<br>・松村道隆（議長）<br>・甲斐　俊和（3 号議員　品川 1 級自動車整備科）<br>・宮谷　真樹（3 号議員　世田谷 1 級自動車エンジニア科）<br>・酒井　彦喜（3 号議員　中野　エンジンメンテナンス科）<br>・山口　泰之　・井上　真一　・園田　幸祐<br><br>◇2 級教育課程分科会<br>・小林　完（議長）・竹尾　和也（副議長）<br>・五十嵐　純二（3 号議員　中野　自動車整備科）<br>・佐久間　三郎（3 号議員　世田谷　自動車整備科）<br>・田村　智（3 号議員　自動車整備科夜間）<br>・坂本　康將（3 号議員　品川　自動車整備科）<br>・飯島　寿朗（3 号議員　中野　自動車整備科ｶｰｺﾝｼｪﾙｼﾞｭｺｰｽ）<br>・油井　文江（2 号議員）<br>・澁谷　健<br><br>（欠席者）<br>・斎藤　昭男（3 号議員：中野 1 級自動車整備科）<br>・三橋　健一（1 号議員） |
| | 事務局 | 1 人 | ・開田　実 |

| | |
|---|---|
| 配付資料<br><br>全体会<br><br>会　議　録 | **全体会**<br><br>◇全体会配布資料<br>A:会議次第・会議進行資料（PP）<br>B:平成 28 年度第 1 回教育課程編成委員会　議事録（前回会議議事録）<br>C:学校評価の実施方法（JAMCA　アンケート参照資料）<br><br>出席者・配布資料の確認<br><br>**１．開会挨拶（全体会議長）**<br>議長より平成 29 年度の本会議開催に向けて以下の報告と説明がなされた。<br>・平成 29 年度就職内定状況<br>東京工科グループでは、8 月末 100%の目標を据え、本年度はスタートをした。進捗としては、全体で 90%（9 月末現在）の進捗であり、最終的には 100%を目指す。<br>・平成 29 年度履修状況<br>概ね順調に推移している。また、留学生の出席率は全体平均より高く積極的な取り組みである。<br>・企業連携教育報告<br>資料の通り、多くの在校生向け企業連携実習が行われた。<br><br>**２．議事**<br>①前回議事録（H29 年第 1 回教育課程編成委員会）の確認<br>山口委員より前回議事録の読上げ・確認がなされた。<br>⇒全員一致で承認<br>②平成 29 年度委員の追加について<br>・佐藤議長より以下の説明と提案がなされた。<br>職業実践専門課程に認定され 3 年を経過した校・科に関して、認定後の取り組みを充実させるために、新様式４を文科省へ提出を義務付けられることとなった。3 号議員（企業委員）に関しても従来は課程毎で共有という考えで委員を決め認可されていたが、科毎に一人以上の選任が改めて明確に打ち出された。その為、配布名簿にあるように、中野校 3 号委員を追加し飯島氏を本年度第 2 回目より新たな委員としたい。<br>⇒全員一致で承認<br><br>③ディプロマポリシー策定の取組みと進捗説明<br>・事務局より以下の説明と提案がなされた。<br>前回会議の報告で平成 28 年度に当学園のアドミッションポリシー（入学者受入れ |

| | |
|---|---|
| 審議事項 | の方針）作成に関しての報告はさせて頂いた。平成 29 年度はディプロマポリシー（卒業要件の方針）を策定しているが、以下の進捗である。<br>１）実際に教壇に立っている教員から卒業に必要なロアーレベルとのアッパーレベルを抽出するために、全教員へのアンケートと研修会を実施。<br>２）各科の責任者である科長よりヒアリングをし、科の特徴としている重点科目とその内容を抽出した。<br>３）さらに教務会で　各科カリキュラムより重点シラバスと重点項目の抽出をおおこなった。<br>以上の内容を踏まえ科毎のディプロマポリシーを策定している。<br>完成は 11 月 6 日（臨時校長会）以降となります。<br>・ディプロマの策定が完了しましたら、第 3 回教育課程編成委員会を 12 月 8 日（金）に開催し、その報告とご意見を伺いたい。<br>→策定は遅れた状況である為、12 月 8 日に教育課程編成会議を開催するのですか。<br>→当初からの予定通りです。ディプロマポリシーを策定しようとするとカリキュラムまで関わってくるため、長い時間が費やされる。<br>⇒12 月 8 日（金）15:00～　の第 3 回教育課程編成委員会　開催　全員一致で承認 |
| 1 級分科会 | **1 級教育課程分科会** |
| 配布資料 | 分科会配布資料<br>資料：1 級整備士養成課程における新技術教育に関するアンケート調査結果 |
| 会議録 | **１．１級整備士養成課程(4 年制)において、卒業までに身につけておく必要のある新技術についてどのような項目が必要と思われますか。(複数回答可)**<br>松村議長より、アンケート結果の資料が配布されそれぞれの委員の方に意見を聞いた。以下の意見が出された。<br>・ナビ・テレマティクス関係、多重通信、アイドルストップ機構などを知っておくと良いのでは。<br>→社内教育では以上の項目についてどのような資料を使用しているのか。<br>・社内で作成した資料や、トヨタの資料を使用している。<br>→エーミングについてはこれから作業の必要性が高くなると思う。そのような研修を開いていただけると助かる。<br>・少し辛口ではあるが、就職先で必要となるものを必要となるタイミングで学習したほうが良いと思う。<br>→トヨタ技術検定と国家検定の関係はどのようになっているのか。<br>・国家二級を取得していると、トヨタ 3 級からスタートする。1 級取得者も同 |

| | |
|---|---|
| | 様。国家検定とは内容が異なるため１級を持っていてもトヨタ３級から勉強してほしい。トヨタ学園の１級学生は学内でトヨタ検定２級を取得してくる。<br><br>・HV に関する基本知識を身に着けてほしい。安全作業や危険を伴う作業についての知識が必要。配線の読み方やパソコンのスキルも必要。<br>→東京工科では十数年前から情報教育に力を入れており、パソコン教育に力を入れている。<br><br>**２．企業としてご協力いただけるならば、どのような教育内容が可能ですか。(実習形式、講義形式、資料配付のみ等具体的にお願いします)**<br>・アンケートに記載したように時期によるが座学・実習の内容が実施可能。<br>・社内教育だけで年間のスケジュールがいっぱいとなっており、対応は困難。現在世田谷校では、1 年生を対象にトラブルシュートに関する研修会を実施している。<br>→実施するとすれば夏休みなど長期休暇の時が考えられる。教職員への技術研修も検討いただきたい。<br><br>**３．新技術に限らず、ご協力いただける教育内容があればお書きください。**<br>・ハイブリッドの基礎知識・故障診断などであるが社内教育ではｅラーニングを行っており、単発的な研修で内容を理解できる内容ではない。<br>・現状世田谷校で実施しているものが該当する。<br>・現状通りインターンシップでの対応となる。<br><br>**４．参考として、２級整備士課程(２年制)の卒業時に身につけておく必要のある新技術があればお書きください。**<br>・EV、HV の知識<br>・基礎をきちんと理解してほしい。<br>・実写の実技を多く実施し、工具の取り扱いや安全作業についてしっかりと学んでほしい。<br><br>以上の議論をもとに、次回第３回の委員会で来年度、教員研修に対応できるかどうかの返答をいただくこととなった。<br><br>その他連絡事項を行い、分科会を終了した。 |

| | |
|---|---|
| 2級分科会<br><br>配布資料<br><br>会議録 | **2級教育課程分科会**<br><br>平成29年度「プロジェクトセミナーの教育的価値向上」の取組<br>平成30年度教育課程編成委員会「二級課程分科会」について<br><br>**① プロジェクトセミナー評価基準改善の進捗報告**<br>H29年度の経過報告を世田谷校の2期教科評価集計結果をもとに行った配布資料を基に、澁谷委員より2期教科評価表の集計結果の読み方とその傾向から現在進めている評価に関して学科や担当教員によるばらつきはまだ若干あるが、2年目の評価実施において良い方向性で取り組めている報告があった。<br>学外委員より経済産業省の「社会人基礎力」は抽象的で指標しにくいが、問題ないか？→2年目で教員間でもコンセンサスを取って指標しており、昨年より前進している。<br>経過報告ではあるが、今後もこの方法で進めて行き、社会人基礎力向上の取組を進めて行くこととしている。PDCA手法を身に付け、社会人基礎力向上の考え方を理解した卒業生を各企業へ送り出して行くので期待して頂きたい。<br>「プロジェクトセミナーの教育的価値向上」に向けての取組を進めて行くことで分科会の承認を得た。<br>**②二級課程の新技術教育推進に関する意見聴取**<br>議長より、今後の分科会で企業連携による二級課程の学生に向けた新技術授業の開発をテーマの一つにしたい旨の提案があり、今回参考として下記１～３の項目について委員の意見を求めた。項目ごとに委員から得た意見のまとめを付記する。<br>１．新技術のテーマとして何が適切か？<br>→HV、EV、ASV等の必要性は感じている。急務とも思える<br>２．１テーマ４時限の授業実施は可能か？<br>→時間は如何様にも対応できるが、<br>→新技術に関わる研修は入社3-4年のスタッフに対して行っている<br>→基礎が十分出来ていないと付いていけない<br>→日常業務の内容を充実して欲しい<br>→簡易体験であれば提案しやすい<br>３．授業資料の共同制作は可能か？<br>→詳細な資料はメーカーから出ており、販社としては出せない<br>→整備主任者技術講習に提供している様な資料は可能と思われる<br>上記までで終了時刻となったため、議長より委員に今回意見に挙がった実施可能なテーマと概要、提供可能な資料を学校にお送りいただき、学校はその内容を整理し会議資料としてまとめて次回分科会で議論を深める事で委員の了解を得て、分科会を終了した。 |

［会議風景］

全大会議

1 級課程
分科会議

2 級課程
分科会議